



## いつになったら終わるのでしょうか？ 戦争をする国づくりは もうたくさんです！！

「私のプレーを見ることよりもはるかに大切な、目を向けるべきことがあると感じています。何度でも何度でも同じ話をすることにうんざりしています。いつになったら終わるのでしょうか。」

大坂なおみテニス選手は人種差別に抗議して言う。  
決勝まで7人の犠牲者の名前をマスクに刻んで行動した。

私たちにとって一番大切なこと、「再び政府の行為によって戦争の惨禍を起こさせないという憲法を実現すること」を声をあげ、行動しましょう。

私たちは、いつまで憲法違反の安保法体制を続けるのかを問い続ける。  
私たちは、人による支配から憲法に基づく政治を求める声を大きくしよう。

8月28日の安倍総理大臣の辞任表明を受けて、次期総理の選任に向けての自民党総裁選が行われた。

安倍内閣を継承するという菅義偉官房長官が選ばれ国会で指名され内閣総理大臣となった。党人事、閣僚も安倍政治の継承そのものである。

総裁選後の会見で、「自民党は憲法改正を是として立党された」と述べ党の人事も憲法改正推進派が配置され、閣僚も安倍なき安倍承継政権である。  
安倍でなければ良いのか、を考え伝えていくことが重要になっている。

新菅義偉総理大臣は安倍政治の継承を言う。そこで安倍政治とはなんだったのかを確認する。

・「国民を守るため」と憲法違反が明確な、集団的自衛権容認を閣議決定し、戦争法たる安保法制を強行した。そのみか、それを前提として専守防衛を完全に否定する敵基地攻撃を認め実践体制への準備を強化している。これは安倍前首相の個人的野望でもあったが自民党の決定でもある。

・公文書管理をおろそかにし、隠蔽、改ざん、虚偽記載。そのため自殺者も出た。  
戦争犯罪から免れるため証拠を燃やしてしまった戦犯内閣と同様なことだ。  
・森友加計・桜を見る会・検事長定年延長・河合元法相選挙資金など私的繋がりによる行政の私物化。

さらにはカジノ汚職なども判明した。

・人事行政の恣意的運用による先例否定の憲法体制の改憲的实施。  
憲法九条のみでない違憲行政実施内閣であった。

その中心にいたのが官房長官であった、菅義偉新総理大臣なのだ。本性も見えてきている。

・菅新政権はそれを継続することを公言している。  
・人が良さそうだ、政治家2世ではない苦勞が分かる。などのメディア報道を鵜呑みにはできません。  
・来年度概算要求額、防衛省過去最大の5兆4898億円（20年度当初予算比3.3%増）。  
・学会会議会員推薦6候補外される。日本学会会議推薦候補が任命されなかったことはない。

九条の会より声明が9月23日だされましたご覧ください。別紙のとおり。

9月25日市民連合が立憲野党の政策に対する要望書を立憲民主党・共産党・社民党に説明し、国民民主党、れいわ新選組、碧水会、沖縄の風へも要請するという。その内容は先の参議院選挙時に合意された政策を補充した15項目になる別紙のとおりです。

ぜひ政治を変える、代わるべき政策として読んでみましょう。

健康に気をつけながら取り組みましょう。

2020年10月7日

九条の会・いすみ市 運営委員会

私は、1950年に生まれました。

戦争を知らない世代に育ち、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、むごさ等実感としてとらえる事が出来ない私には、見たり、聞いたり、人との会話よっての戦争観です。

戦前の歴史を紐解いてみると、人々が自由にももの言えない社会！権力者の思うがままに人々をコントロールしていた社会！ましてや、なんら迷うことなく、国のため、天皇のためにと尊い命を犠牲にした若者たち！これは、一つに戦前の教育の在り方が大きく影響していたと思います。本当に恐ろしい教育です。

いろいろな人間がいて！いろいろな考え方があって！いろいろな行動もあって！でも、「戦争だけは、絶対にダメ！」と言う人々が増えてくることを願って！

そんな中、全国各地に「9条の会」が生まれ、地道に運動を進めています。

「9条を守る！」そして「9条をいかす！」そこに希望を見い出しています。

余談になりますが、憲法を考えるキッカケになった、故、井上ひさし著「子どもにつたえる日本国憲法」子ども向けに書かれたものですが、私にはピッタリ！カラッポの頭にどンドン吸い込まれていった記憶があります。秋の夜長に1ページ開いてみませんか？

日在・M

自分の半生を振り返ると、「世の中というのは時には理不尽」だと聞かされながら恐るおそる飛び込んだ社会生活で遭遇してきたその「理不尽」の正体の多くが、私の場合「おじさん」に総称される人々によるホモソーシャル的な圧力によるものだった。そして、非常に不本意だが理不尽の壁に屈して泣き寝入りを選ぶことも少なくなかった。しかし近年は、海外に限らず日本でも、様々なハラスメントや根深い人権問題に対しリスクを覚悟できちんと声を上げる勇気ある人々が確実に増えてきている。言いたいことを言わず沈黙を通すのはこの令和の時代の流れにそぐわないと強く思う今日この頃である。

国会でも「ザ・おじさん」たちがまだまだ元気に無自覚に醜態を晒している。自民党を支える日本会議の思想がミソジニーそのものだし、それに賛同する女性たちはさらにタチが悪い。いずれにせよ、ミソジニーな国会おじさんたちはアップデート不能な古い価値観と共に静かに寿命を迎えていくのだろう（ただし山積みの問題を残したまま）。その前に憲法9条がうっかり改憲されないことを願うばかりだ。この世からホモソーシャルミソジニーおじさんがいなくなればきっと戦争もなくなることだろう。

松田

\*ホモソーシャル（恋愛や性的な意味を持たない、同性間の結びつきや関係性を意味する）

\*ミソジニー（女性蔑視、女性嫌悪【社会学の用語】）

「安倍政権が終わっても・・・」

私自身のカバンに「安倍政治を許さない」というタグをつけて七年八か月それを追い求めてきました。

安倍の突然の辞任飛び上がった喜びは、すがすがしい。菅は「安倍政治を継承する。更に前進させる。」と言っているからです。自分このタグは外さないようにします。

「持病の悪化」を理由にしているが真の原因ではない。新型コロナ禍対応の失敗「モリカケ・桜・黒川・河井夫妻・カジノ」山積する疑惑、与党・霞が関の腐敗などが作り出した政治的困難に加え、何よりも首相が就任以来、最大の政治目標としてきた「九条改憲」が行き詰まり見通しが立たなくなったことにあるのではないか。今回の辞任によって「安倍改憲」は放棄され破綻しました。

置き土産のなくなった安倍は「安保政策の新方針」と言って、敵基地攻撃能力なるものを出しています。明文改憲に失敗した首相が実質的な改憲状況を制作していることを言明し、これを次期首相の下で、防衛計画の大綱や中期防衛二十一年度予算に反映させようとしている。

私たちは何としても「安倍改憲」を止めた力で、「敵基地攻撃能力保有」論を打ち破るしかない。これは、先制攻撃で国際法にも、勿論国内法にも違反する重大なものだからです。

前田

学習会



「改憲発議に反対する全国緊急署名」について

10月24日(土) 11月21日(土)  
12月19日(土)  
時間 10時から12時  
場所 大原文化センター  
資料代100円



安倍首相の辞任表明により、情勢が大きく変わりました。全国のみなさんの「安倍9条改憲NO!」の署名をはじめ、この間の粘り強い運動が、安倍首相の任期中の改憲を不可能に追い込み、これが安倍辞任の大きな要素になったことは疑いありません。署名は近く、全国アクションで検討して新しい情勢に合わせた用紙を作ることになると思いますが、しばらくの間は「請願事項」の説明をしながら現在の用紙をお使いください。集まっている署名は集約して、次期国会に提出したいと思ひます。